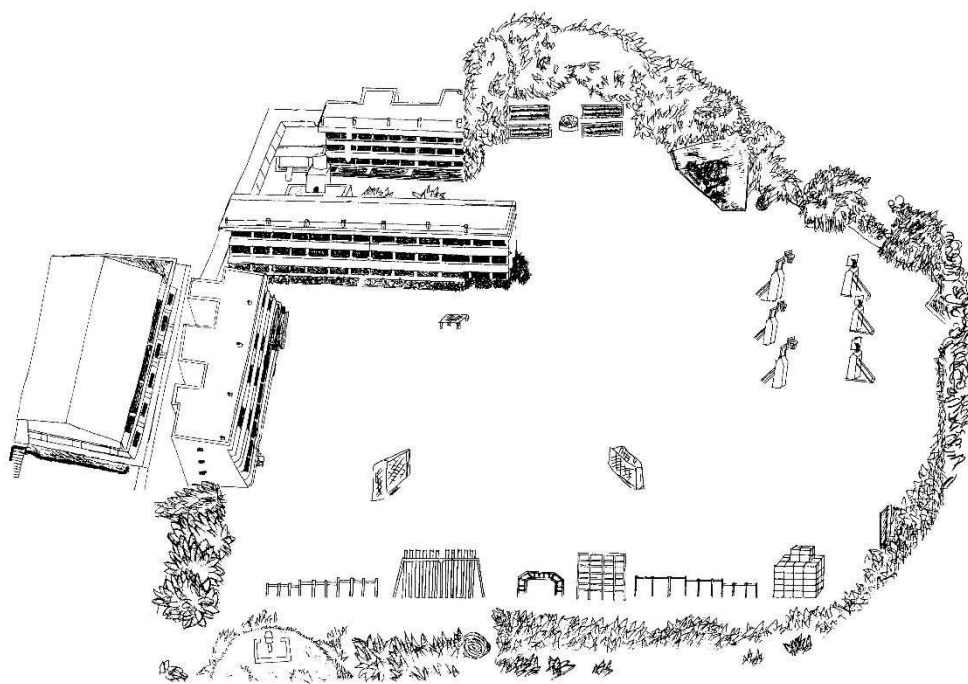


平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果



令和元年 12 月
海老名市立上星小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学, 英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

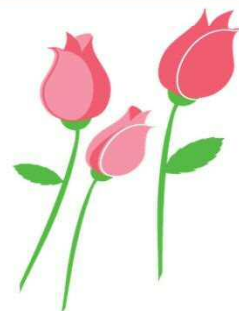
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- ・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 図や表などの資料が、どのような目的で使用されているのかを捉えること。
- インタビューの内容を聞き取り、自分の理解を確かなものにするための質問を考えること。

◆課題のある点

- 同じ読みで、異なる漢字を使用する場合に、意味を理解して正しい漢字を書くこと。
- ことわざの意味を理解して、使用すること。
- 情報を相手に分かりやすく伝えるためには、どのような書き方をするのか、どのような工夫が必要なのかを考えること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 漢字そのものだけでなく、漢字を使った短文を作るなどの工夫を漢字練習に取り入れていく指導をしていきます。
- 普段の生活の中で、ことわざにふれる機会を増やしていきます。宿題に取り入れたり、かるた遊びなどを通して興味・関心を持たせたりします。
- 自分の考えをわかりやすく書いた文や文章を紹介したり、教室内に掲示したりして、手本となるような文を目にする機会を増やしていきます。
- 国語以外の教科等でも新聞づくりなどで、学習したことを相手に伝える活動をしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 棒グラフから、2つの数値を読み取り、数量関係（何倍か？）を計算で求めること。
- 2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ること。さらに、それらを関連付けて、状況を判断し、その理由を記述すること。

◆課題のある点

- 合同な図形を、ずらしたり回したりなどして組み合わせ、ほかの図形を作ること。
- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 図形の学習では、ICT教材と実物を効果的に活用して、一人一人が操作できるように教材の開発や授業展開の工夫をしていきます。
- 授業だけでなく、実際に手にすることができる図形（パズルのような）に触れる機会を増やしていきます。
- 既習事項をもとに自力解決をし、話し合いを通じて協働的に問題解決ができるように学習を進めていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答している児童は 77.2%で、全国に比べ 5.7 ポイント上回っています。
- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答している児童は 84%で、前向きに授業に取り組む姿勢が感じられます。
- 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と回答している児童は 76%で、外国の人と関わりを持ちたいと考えている児童が多いということがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の授業で「自分の考えを話したり書いたりしている」「うまく伝えるように工夫している」「文章や段落同士の関係を考えながら読んでいる」と回答している児童は全国に比べ、すべて 7 ポイント以上下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「毎日、朝食を食べている」と回答している児童は両方とも 90%以上で、朝の生活リズムを意識している児童が多いことがわかります。
- 「学校に行くのが楽しい」「学校の決まりを守っている」「困っている人がいたら助ける」と回答している児童はすべて 90%以上で、規律を守り、楽しみながら友だちと協力して生活していることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答している児童は 84%で、朝の生活リズムへの意識に対し、夜の生活リズムへの意識が低いということがわかります。
- 「新聞を読んでいない」と回答している児童は 81%で、昨年度に比べ 4 ポイントの向上が見られますが、依然と高く、課題が残ります。

今後の具体的な取組について

- 低学年は学習習慣が身に付くように宿題を毎日出していきます。中学年は、学習内容に沿った課題を宿題に出していきます。高学年は自主的に学習に取り組むことができるように声をかけていきます。
- 外国語・外国語活動の学習を通して、言語の習得だけでなく、その国の人や文化への興味・関心が、更に高まるように授業の工夫をしていきます。
- 国語の授業では、話をするときに、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話の組み立てを工夫することができるような指導を行います。

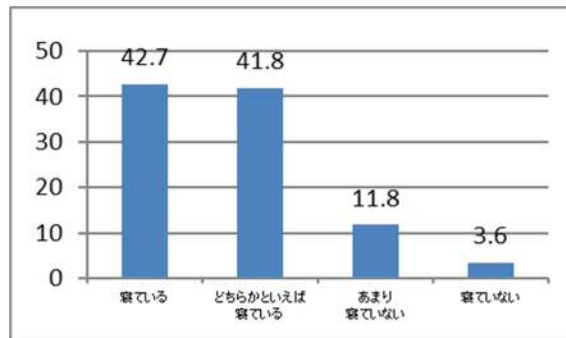
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

早く寝て、しっかり休みましょう。

しっかり寝て、その日の疲れをとって、次の日の活動や学習のために、体の準備をしましょう。（「同じ時刻に起きていますか」という質問より 7.3 ポイント下回っています。）

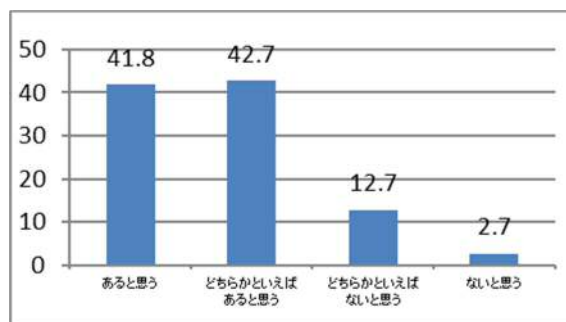


毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2

こどものよさを認め、たくさん褒めましょう。

うまくいかなかなくても、がんばったことを認め、次への挑戦を後押ししましょう。

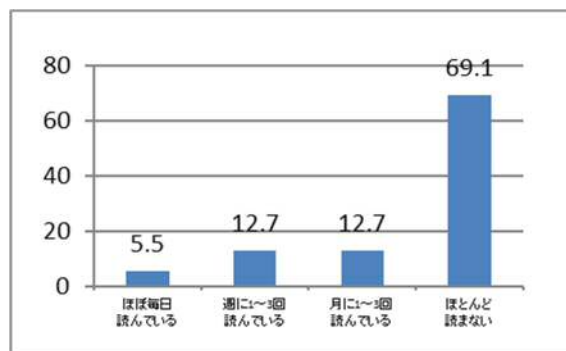


自分にはよいところがありますか。

3

新聞を読んで、社会の出来事に関心を持ちましょう。

新聞やニュースなどから興味を持った出来事を家族で話し合ってみましょう。

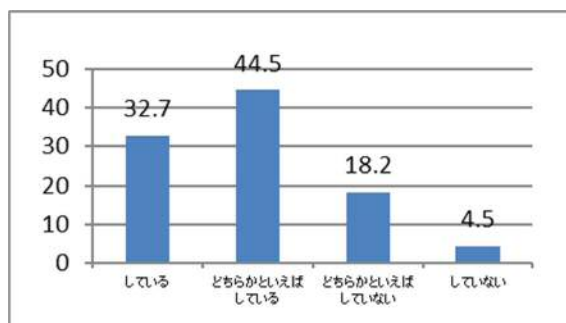


新聞を読んでいますか。

4

学習の計画を立てて、勉強しましょう。

10分×学年（6年生は60分）を目安として計画し、毎日継続して家庭学習に取り組みましょう。



家で自分で計画を立てて勉強していますか。

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。
全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様により市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索

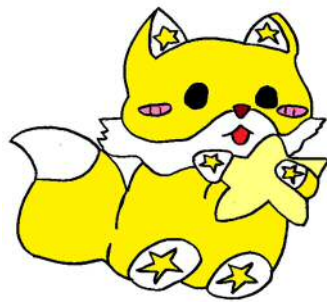


【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

上星小学校イメージキャラクター



キラこん



さくポン